

## II 文部科学省指定研究について

本校では平成 30 年度から 2 年間、文部科学省 特別支援教育に関する実践研究充実事業「新学習指導要領に向けた実践研究」の指定を受け、新しい学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を具体化する授業や教育課程について全校で研究を進めてきました。

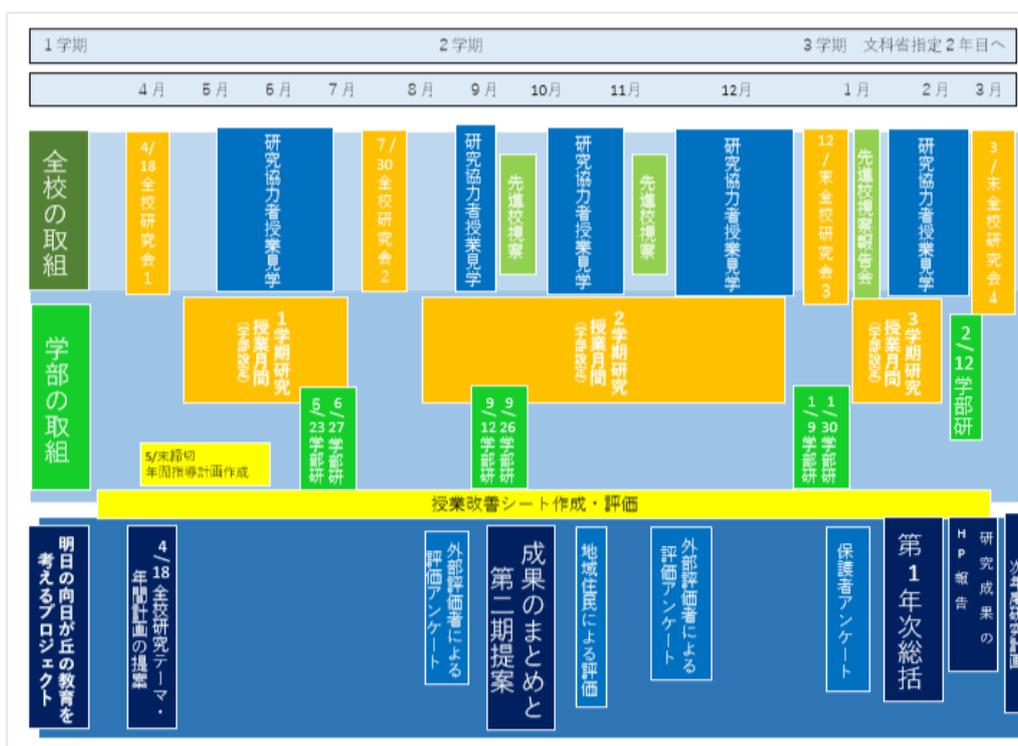
小学部は令和 2 年度から、中学部は令和 3 年度から、高等部は令和 4 年度からの新しい特別支援学校学習指導要領の円滑な実施に向けて、本研究では教育課程編成や指導方法の工夫改善についての先導的な実践研究を行い、その成果を全国の特別支援学校へ普及していくことが求められています。

研究協力者として大和大学教育学部教授の落合俊郎先生、立命館大学産業社会学部教授の青山芳文先生のお二人にお世話になりました。落合先生には、共生社会にかかわる我が国を取り巻く社会状況や、障害のある児童生徒が生き生きと自分らしく社会貢献する姿は社会全体が求める姿であること等を教えていただきました。また、青山先生には、2 年間継続して全学部の全ての学級の授業参観と指導助言を実施していただき、指導助言から授業改善の観点を整理し、深めることができました。

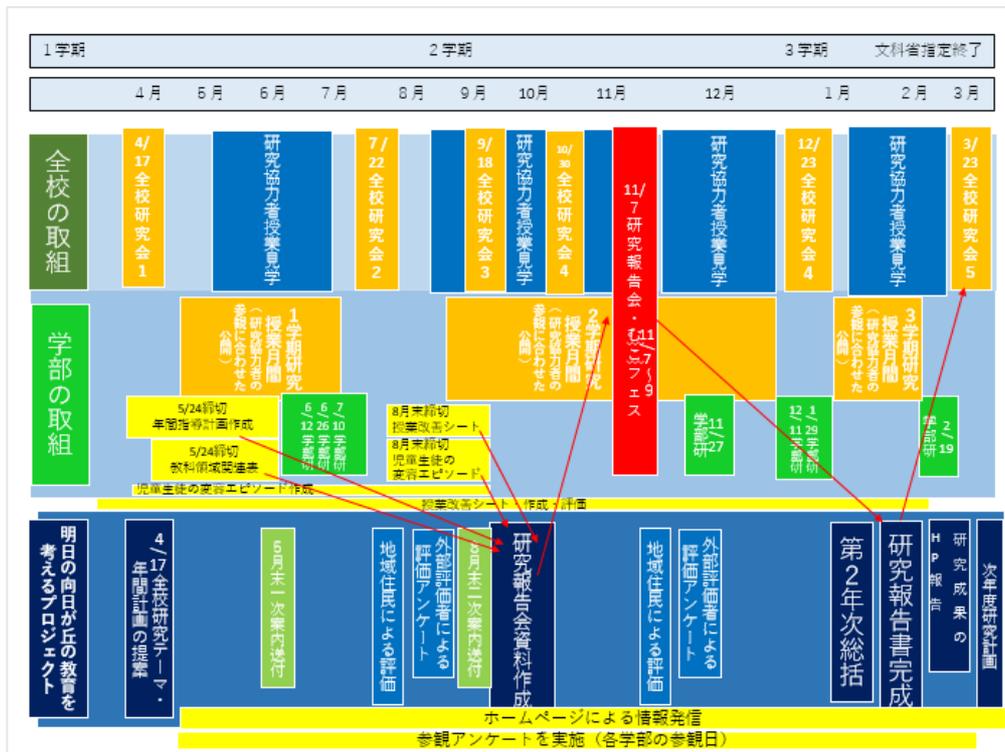


研究協力者をお招きしての全校研究会を節目としながら、以下の研究計画に沿って、本研究を進めてきました。

<平成 30 年度>



< 令和元年度 >



2年間の研究まとめについては、「Ⅱ－1 平成30年度研究について」「Ⅱ－2 令和元年度研究について」のとおりです。令和元年11月7日に実施した研究報告会の評価も含め、2年間の研究まとめとしています。研究報告会の記録については「Ⅳ 研究報告会記録」を御覧ください。

具体的な実践事例については、「Ⅲ 実践紹介」を御覧ください。